

# 平成26年度事業報告

公益財団法人三菱経済研究所

## 1. 内外経済の概況

世界経済は、米国や日本など先進国経済の回復やアジア経済の成長に支えられ、全体としては緩やかな回復基調を継続している。

米国では、家計部門のバランスシート調整が進展するなか、雇用・所得環境の改善に原油安の追い風も加わって、景気の回復ペースは緩やかながらも力強さを増しつつある。アジア経済は、中国経済が減速過程に入っていることから、成長ペースの鈍化は避けられないものの、堅調な内需と米国向けの輸出に支えられて成長を継続中である。ただ、欧州経済は、デフレ転落への懸念やロシア経済の悪化といった不安材料を抱え、持続的な成長軌道への復帰はしばらく期待できそうもない。

こうしたなか、わが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減が沈静化し、昨秋以降は緩やかな回復基調に復している。円安の定着によって、出遅れていた輸出もようやく増勢に転じており、企業業績の好転を受けて設備投資も徐々に回復中である。賃金の増加や雇用の拡大を通じた家計所得の改善も経済の好循環を後押ししており、景気は引き続き回復基調を維持している。

なお、足許の不透明要因として、①米国の量的金融緩和政策からの“出口戦略”がもたらす影響、②欧州中央銀行の大規模な量的緩和によって小康を保っている欧州債務危機問題の動向、③資源価格の下落に直面する新興国経済の行方、などが挙げられ、これらが世界経済の動向を一層複雑なものにしている。

## 2. 事業活動

### (1) 経済研究部門

当部門は、①内外経済・産業情勢の現状と展望に関する分析と、②経済の基礎研究を通じた学術分野への貢献、を二本柱として活動を続けている。このうち、内外経済・産業情勢の分析については、欧米やアジアを中心とする各国経済の動向や内外の政治・金融情勢など、わが国経済が関連する重要なテーマを鋭意取り上げた。また、基礎研究については、国内外での博士号取得者を研究員として積極的に登用し、学術研究部門としての体制充実とレベルの向上に努めた。こうした研究活動の成果は、下記刊行物の形で広く一般の利用に供している。

#### ①月刊誌

「経済の進路」

B5版 22頁

国内及び海外経済・産業のポイントや問題点について分析し、それを平易かつ簡潔に紹介するもの。発行部数は毎号約20,000部。

「MONTHLY CIRCULAR—Survey of Economics Conditions in Japan—」

(英文経済月報)

変形 A4 版 12 頁

大正 12 年の創刊。海外での日本経済に対する理解と認識を深めてもらうことを目的として、主に国内経済に関する分析と解説を英文で紹介するもの。海外 40 数カ国の政府機関や中央銀行、商業銀行に送付されており、発行部数は毎号約 2,400 部。

②基礎研究書：計 9 点刊行

「プルーデンス政策と中央銀行～信用秩序維持策としての LLR～」

2014 年 3 月 31 日刊行 (A5 判 75 頁)

元研究員 明石 衛著

各国中央銀行の制度と歴史に関する比較研究を整理し、併せて金融危機の発生メカニズムと、それを予防するための最適な政策について検討を試みたもの。

「高齢者の介護と働き方」

2014 年 3 月 31 日刊行 (A5 判 89 頁)

元研究員 松山 普一著

高齢者の介護と、中高年を中心とする介護者の労働供給との関係につき、国際的な理論研究やミクロ実証分析データを踏まえつつ、考察を行ったもの。

「ゲーム理論における単調な外部性の分析」

2015 年 1 月 30 日刊行 (A5 判 107 頁)

元研究員 増澤 拓也著

単調な外部性を表現する非対角単調関数というツールに着目して、市場、環境システム、交通ネットワーク、選挙制度などを分かり易く把握しようとしたもの。

「マッチングゲームの実証分析」

2015 年 2 月 10 日刊行 (A5 判 97 頁)

元研究員 中嶋 亮著

結婚問題と呼ばれる比較的単純なマッチングゲームを題材に、マッチングの理論モデルを解説しつつ、実際の行動との整合性を明らかにしようとしたもの。

「IPO の理論・実証分析—過小値付けと長期パフォーマンス—」

2015 年 2 月 20 日刊行 (A5 判 192 頁)

元研究員 池田 直史著

IPO をめぐって観察される「過小値付け現象」と「公開後の長期アンダーパフォーマンス現象」について、理論的・実証的に解明しようとしたもの。

「日本における労働移動に関する実証分析」

2015 年 3 月 10 日刊行 (A5 判 121 頁)

元研究員 佐藤 一磨著

転職者の数は増えているのか、転職によって賃金は増加したのか、といった視点から、わが国における労働移動の現状を明らかにしようとしたもの。

「世代重複モデルによる環境問題の経済分析」

2015年3月10日刊行 (A5判 69頁)

元研究員 檀原 浩志著

汚染排出とそれによる被害の発生が時間的にずれている状況を想定し、世代重複モデルを分析道具として解決策の検討を進めたもの。

「労働市場のミスマッチ問題に対する経済政策の検討」

2015年3月20日刊行 (A5判 111頁)

元研究員 小林 徹著

様々なデータを駆使して、労働力の再マッチングに際して採用される様々な政策の有効性を検証しようとするもの。

「海外直接投資の理論・実証研究の新潮流」

2015年3月20日刊行 (A5判 139頁)

元研究員 松浦 寿幸著

世界の直接投資動向を概観したうえで、わが国の企業データを駆使して海外直接投資の発生メカニズムとその影響について実証分析を行ったもの。

なお、研究部門が所管する資料室では、内外の経済関係の図書や資料を所蔵し、一般の閲覧にも供している。年度末の保有点数は29,894点で、前期末比66点増加している。

## (2) 史料部門

当部門では、三菱に関する史料の収集、整理、保管や閲覧等の供与とともに、三菱および日本の産業発展史の調査・研究を行っている。また、三菱史料館の運営・管理を通じて広く一般の利用に供するため史料の整備及びデータの充実を図ると共に、三菱の歴史や経営理念の由来について理解が深まるよう活動している。

### ① 史料収集

史料収集・整理に努めた結果、平成27年3月末の収蔵史料は63,536点となり、前期末比1,896点増加した。

また、収蔵史料の劣化対策も兼ね、閲覧用マイクロフィッシュ作成を順次実施している。当年度は703点の作成を実施した結果、平成27年度3月末の作成済史料数は22,047点となった。

### ② 三菱史料館論集の刊行

当研究所研究員等の執筆による論文や史料紹介を収録した「三菱史料館論集」第16号を平成27年3月に刊行し、内外の大学、研究機関やアーカイブズに贈呈した。

第16号には論文等11本(論文7、研究ノート3、史料紹介1)を掲載した。

### ③閲覧・外部からの問合せ(レファレンス)

研究者等の史料閲覧者が225名(閲覧史料点数1,128点)。外部からの問合せ(レファレンス)が696件、広く一般を含め企業・学校関係等の対応、マスコミへの取材協力に積極的に対応した。

### ④展示室

平成26年度に展示室を訪れた来館者は4,415名(一般見学3,151名、研修見学1,264名)。当年度展示室では企画展「三菱における明治期の造船所の発展」を開催した。

### ⑤研究体制の変更

三菱研究の拠点として、研究の裾野拡大や経済史若手研究者の育成を主眼に、従来の専任研究員1名、兼務研究員3名の体制から専任研究員2名、兼務研究員2名の体制へ変更することを決め、平成27年度から実施することとした。

### ⑥空調設備全面更新による史料保存環境の整備

三菱史料館開設後18年が経過し、史料を保管する書庫等の空調の更新が必要となったため、平成26年9月から平成27年3月に掛け、空調設備の更新を行った。この更新の費用206百万円は、全額、三菱金曜会各社からの寄付にて賄い、これを機に、従来よりも進んだ方式を採用して温湿度の制御を安定させ保存環境を向上させることを目指している。

## 3. 維持会員

平成27年3月末の維持会員数は340件である。(前期末比4件増)

平成26年度においては、下記のとおり維持会員懇談会を開催した。

7月11日 会場：東京丸の内「銀行倶楽部」

演題：「日本の伝統芸能と資本主義の新しい形

～文楽の世界から新しい会社のあり方を探る」

講師：東京大学名誉教授 岩井 克人 氏

また、昨年度に引き続き大阪と名古屋で維持会員懇談会を開催した。

12月 8日 会場：大阪市「三菱東京UFJ銀行大阪東銀ビル」

テーマ：「2015年の内外経済展望」

第1部 海外経済の現状と展望

第2部 日本経済の現状と展望

報告者：第1部 三菱東京UFJ銀行

企画部経済調査室長 松宮 基夫 氏

第2部 当研究所 滝村 竜介常務理事

12月12日 会場：名古屋市「三菱東京UFJ銀行名古屋ビル」

テーマ：「2015年の内外経済展望」

第1部 海外経済の現状と展望

第2部 日本経済の現状と展望

報告者：第1部 三菱東京UFJ銀行

企画部経済調査室長 松宮 基夫 氏

第2部 当研究所 滝村 竜介常務理事

#### 4. 庶務事項

##### (1) 評議員会

第4回評議員会（平成26年6月9日開催）

議案 評議員1名選任の件

原案通り承認可決

理事 1名選任の件

原案通り承認可決

報告事項 平成25年度事業報告並びに財務諸表及び同附属明細書並びに財産目録の件

空調設備等の更新工事実施について

##### (2) 理事会

第8回理事会（平成26年5月26日開催）

議案 「会計処理規程」一部変更の件

原案通り承認可決

平成25年度事業報告並びに財務諸表及び同附属明細書並びに財産目録承認並びに特定資産への繰入れ及び取崩し承認の件

原案通り承認可決

評議員会招集の件

平成26年6月9日三菱クラブに招集し開催することを承認可決

評議員候補者選任の件

平成26年6月30日付をもって辞任する評議員1名の補欠として評議員候補者1名を選任した。

理事候補者選任の件

平成26年6月9日付をもって辞任する理事1名の補欠として理事候補者1名を選任した。

報告事項 職務執行状況の報告

第9回理事会（平成26年6月20日みなし決議）

議案 常務理事選任の件

平成26年6月9日付けをもって滝村竜介氏を常務理事に新たに選任

原案通り承認可決

第10回理事会（平成27年3月20日開催）

議案	平成27年度事業計画及び収支予算書並びに特定資産への繰入れ及び取崩し承認の件	原案通り承認可決
	平成27年度資金調達及び設備投資の件	原案通り承認可決
報告事項	空調設備更新工事の件と職務執行状況の報告	

(3)官庁関係事項

平成26年	6月25日	内閣府へ平成25年度事業報告並びに財務諸表及び同附属明細書並びに財産目録を提出(電子申請)
平成26年	7月8日	内閣府へ理事1名、評議員1名の変更届出書を提出(電子申請)
平成27年	3月26日	内閣府へ平成26年度事業計画及び収支予算書を提出(電子申請)

(4)登記事項

平成26年	7月1日	伊与部恒雄氏評議員就任登記 滝村竜介氏理事就任登記 有限責任監査法人トーマツ会計監査人重任登記
-------	------	---

5. 役員・評議員・職員（平成27年3月31日現在）

(1) 役員

理事（10名）

理事長	三木繁光
副理事長	吉峯寛
常務理事	西田純隆
常務理事	滝村竜介

理事

石村和彦	岩井克人	鈴木良隆	西川章
樋口公啓	谷野剛		

監事（2名）

関口憲一	高木茂
------	-----

(2) 評議員（10名）

荒蒔康一郎	石井寛治	伊与部恒雄	内海映郎
大山道廣	草刈隆郎	佐々木幹夫	下村節宏
正野寛治	増田信行		

(3) 職員

常勤	11名
非常勤	5名